

議員発議で 定数を二人削減

○議員定数条例改正

今定例会では、行政改革及び財政の健全化に資するため、議論を重ねた結果二人の議員定数削減を決めました。

議員定数はこれまでに、次のように改正・制定をし、削減を行ってきました。次に行われる一般選挙（平成23年4月）から議員定数は12人となります。

昭和41年 条例改正	26人 ↓ 20人
昭和61年 条例改正	20人 ↓ 18人
平成15年 条例制定	18人 ↓ 16人
平成18年 条例制定	16人 ↓ 14人
平成22年 条例改正	14人 ↓ 12人



定例会

22年度当初予算

一般会計 48億4000万円

(対前年度比 13・6%、5億8千万円の増額)

安心して夢を持って暮らせる町・新たな町づくりのスタートをめざします。

5か年計画で取り組んできた「まちおこしプラン」は、21年度で終了しましたが、引き続き議員報酬、町長、教育長の給与を減額、職員管理職手当の減額等経費削減の取り組みを行うとともに、限られた財源を重点的・効率的に配分し、事業の緊急性・必要性に基づき、地域経済の活性化も視野に入れた予算としました。

- 歳入では、景気低迷による町税の減収が見込まれますが、自主財源の確保や国・県の補助事業の活用など効率的な予算としました。
- 歳出では、引き続き子育て支援（幼稚園給食費の無料化・保育園定員の増）や福祉の充実及び教育環境の整備を図るとともに予防医療の支援強化拡大や商工業者支援対策並びに観光施設整備、道路整備などに取り組みます。

主な事業

子ども手当支給事業 新規	2億1,321万円
中学生までの子ども一人当たり月額1万3000円支給	
福祉医療事業（中学生までの医療費無料化）	1億1,518万円
予防接種・保健事業 拡充	3,321万円
国保人間ドック検診費補助金を半額に引き上げ 拡充	
70歳以上の肺炎球菌ワクチン予防接種費半額3500円補助 新規	
まちづくり定住応援金事業（取得した住宅の初年度固定資産税相当額を交付） 新規	
地域密着型老人福祉施設建設事業（建設費補助） 新規	1億1,890万円
住宅用太陽光発電設備設置費補助事業（6月から受付予定） 新規	
長岡今朝吉記念ギャラリー事業（展示・学習施設建設） 新規	1億8,493万円
消費生活対策事業（消費生活センターを4月から開設） 新規	
道路新設改良事業（スマートインターチェンジ設置調査委託料） 新規	
伝統的建造物群保存地区指定事業（指定に向けた計画策定） 新規	